

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100422
事業所名	グループホーム 奏田町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 散歩に出かけて近隣住民と言葉を交わし、管理者は町内会の会合に参加している。 4階フロアは地域の高齢者が集うサロンに月2回開放し、地域に貢献する取り組みを行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者、家族代表、地域代表、地域包括支援センター職員が参加し、奇数月に開催している。 ホームの取り組み報告やサロン会への提言、地域の話題等、活発に意見交換している。 災害時の地域連携を、継続して話し合っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センター職員が運営推進会議に参加し、2ヶ月に1回生活支援相談員の訪問もあり、連携を深めている。 地域包括支援センター職員からは近隣情報の提供を受け、ホームの運営に活かしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年2回家族会を開催し、活動報告や質疑応答を行っている。 日常の来訪時にも現場職員が中心となり、利用者の様子を伝え家族意見の聞き取りを行っている。 利用者の安定のため、家族とホームとが連携していくよう取り組んでいる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	